

村誌の編纂を終えて

ここに村誌一巻・二巻・三巻の編纂経過の概要について記載いたします。

昭和六十年（一九八五）十月 村制百周年を四年後にひかえ鳴沢村誌の刊行を計画 同年十月四日に出版物請負契約

を締結。

昭和六十三年 一月 三十日 山梨日日新聞社、サンニチ印刷のご協力をいただき鳴沢村誌一巻・二巻が刊行された。

平成 三年 五月二十三日 鳴沢村誌資料編（第三巻）編纂委員会発足。

同 年 十月三十一日 鳴沢村誌資料編（第三巻）編纂委員会を開催、今後の方針や資料収集等について打ち合わせる。

同 年十二月 十三日 元禄十五年（一七〇二）、甲・駿国境論争裁許状調査のため富士宮市役所を訪問。

平成 四年 四月二十三日 （株）サンニチ印刷と出版物請負契約を締結、発行予定日を平成六年十二月一日とする。

同 年 八月 十四日 実務者による村誌資料編（第三巻）編纂委員会を開催、資料取材、作業分担・掲載内容について打ち合わせる。

同 年 九月く十二月 村内石造物の調査及び写真撮影を実施。

同 年十二月二十四日 村内の古文書等の資料を収集。

平成 五年 一月く 四月 村内の古文書等の資料を収集。

平成 六年 二月く 三月 校正作業を始める。

同 年 四月 二十日 （株）サンニチ印刷の担当者と編集打ち合わせを重ねる。五百ページを追加し出版物請負変更契約を締結。これに伴い発行予定日を平成七年三月二十日に変更。

平成 七年 一月 十九日 村誌口絵の写真撮影を実施。

同 年 三月 一日 最終の校正作業を重ねる。また刊行までの細部について協議。